

「知の航海」シリーズの新刊



日本学術会議は、中学生や高校生にも理解できる形で、学術の最新の成果を紹介、あるいは現代世界が直面している難問を理解する手がかりを提供し、若い世代の読者に学術への関心をもってもらうために、岩波ジュニア新書と提携して「知の航海」シリーズを刊行しています（既刊 10 点）。このたび、西崎文子・竹内進一編著『紛争・対立・暴力』が新たに刊行されました。

本書のとびらには次のようにあります。

「いま世界各地では、民族や宗教、経済格差などに起因する紛争や対立、暴力が深刻になっています。これらの問題をどう考え、どのように向き合っていけばよいのでしょうか。本書では、ヨーロッパ、南北アメリカ、

アフリカ、アジアなど各地域を専門とする研究者たちが、対立の背景をわかりやすく解説し、今後の課題を展望します。」

本書は、2015 年 10 月に日本学術会議が主催したシンポジウム「亀裂の走る世界の中で—地域研究からの問い」をもとにして生まれました。多くの方に読んでいただきたく、ここにご紹介する次第です。

日本学術会議 広報委員会